

経営比較分析表（平成29年度決算）

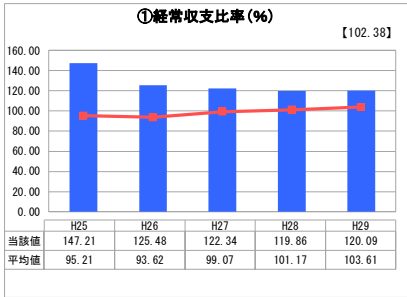
大府 池田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	87.67	3.52	100.00	1,328

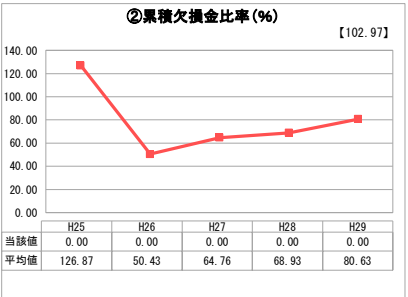
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
103,556	22.14	4,677.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,645	1.01	3,608.91

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

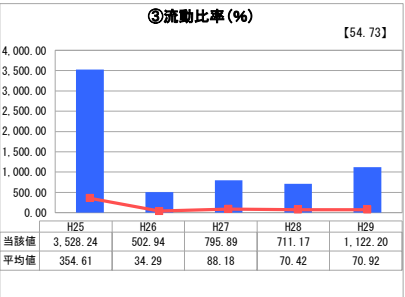
1. 経営の健全性・効率性



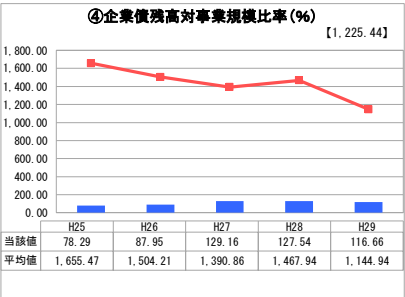
「経常損益」



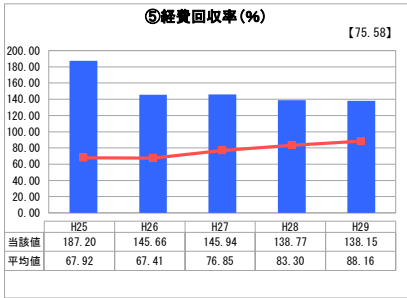
「累積欠損」



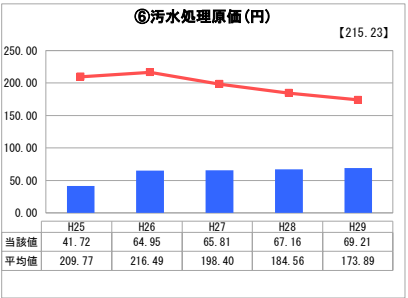
「支払能力」



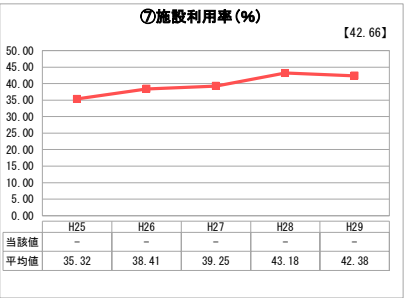
「債務残高」



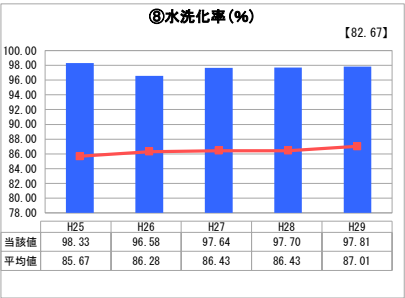
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

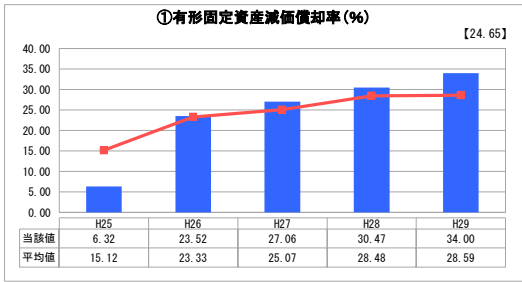


「施設の効率性」

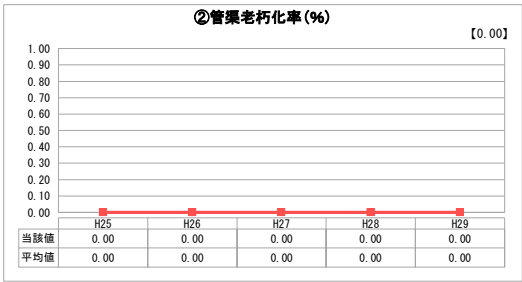


「使用料対象の捕捉」

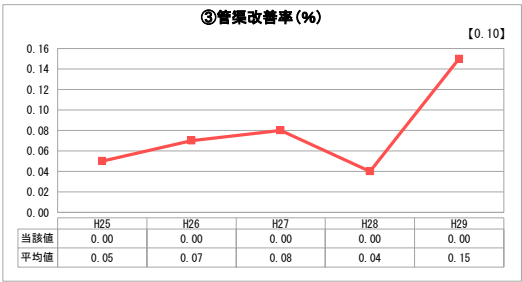
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益性については、①経常収支比率は100%を超えている状態が続き、⑤経費回収率も類似団体平均値を大きく上回っている。また、汚水処理原価は類似団体平均値を大きく下回っている。④企業債残高対事業規模比率は、平成25～平成28年度を通して、類似団体平均値を大きく下回っている。

財政状態については、③流動比率は、100%を超えていることから1年以内に支払うべき債務に対して支払うことが出来る現金等を十分に保有している状況であると言える。また、⑧水洗化率は、97.81%であり、概ね100%を達成している。

このように類似団体と比較して、概ね数値が良好なのは、流域下水道の処理費用が安価なこと、平成26年1月に下水道使用料の改定（平均改定率20.5%）を行ったことが要因と考えられる。

※施設利用率に数値が記載されていない理由は、単体で終末処理場を保有せず、すべての処理を流域下水道で行っているためである。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率が平成26年度に大きく増加している要因は、みなし償却制度の廃止によるものであり、微増傾向であるが、類似団体と同程度である。

②供用開始年度が昭和54年度であるため、法定耐用年数を経過した管渠は存在せず、管渠老朽化率は0%で、③管渠改善率も0%となっている。

全体総括

経常収支率は100%を超えている状態が続いており、経費回収率も類似団体平均値を大きく上回っている。また、流域下水道で汚水処理を行っていることにより、汚水処理原価は類似団体平均値を大きく下回っていることから、投資の効率化が十分に図られていると言える。

今後は、平成29年度に策定した経営戦略に基づき、将来を見据えた効率的な事業運営を行っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。